

それぞれの愛のカタチ—秋穂—

クアトロ

■作品概要

△サークル△

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音楽編集：クアトロ）

△ジャンル／年齢指定△

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ボリューム△

90m △詞文字数11,945文字

△舞△

現代／秋穂家の旅館／秋穂の部屋

■登場人物

△ヒロイン△

名前 … 秋穂（アキホ／17歳）

人物 … 彼氏である聴や歩とは幼稚園からの幼馴染／優等生でクラス委員長

眼鏡つ子／眼鏡を外すと実は美少女

見た目は地味だが内面は快活で多くの男女から慕われている

有名旅館の長女で家族から大切にやられてる

趣味／特技：料理／茶道／書道／読書

△聴や歩△

彼氏 … 高校生（17歳）／不器用／秋穂家の旅館を当たり前の様に訪れてる

△位置の指定図△

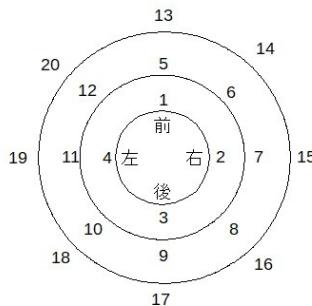
図はマイクとの距離を示しています

1~4は30cm

5~12は50cm

13~20は1mを想定している

距離が取れない場合、△からの音量調整等で対応します



1・秋穂との帰路（通学路／夕方）

(一人の足音)

(位置11／有聲音)

ねえ…、ねえってば…。

さつきから上の空つて感じだけど、ウチの話、聞いてる…？

じゃあ、何の話してたか、言つてみて？

あー、もー、やつぱり聞いてなかつたんじゃーん…。

今日もウチに来るかどうかって話つ！

そういう所、君の悪い癖だよ。

ウチが一生懸命話してるのに、一人で考え事してるんだもん…。で？

今日はウチの温泉、入つて行くの？行かないの？

入つて行くのね、オッケー。

所でさ…、さつきは何を考え込んでたの？

卒業後…？

あー、そつか…。

ウチら来年の春で卒業だもんね…。

卒業かー…。

あ、もしかして、卒業したら会えなくなるかも、って思つてた？それについては心配する必要ないじやん。

何でつて、君ヤー…、家（いえ）が隣り同士つて事、完全に忘れてるでしょ？

君の家は、旅館つるの屋の隣りでしょ？

はあ…、やつぱり…。

もー、ほんつとそういう所、抜けてるよねー。

会つのは別に学校だけじゃないって、何で気付かないかなー…。

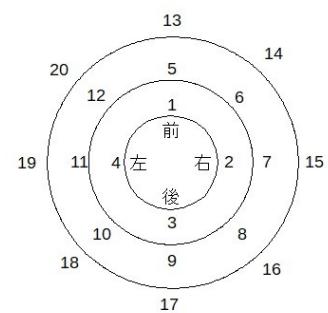
まあいいや。

じゃあ、今日も温泉に入つて行くつて事で、お母さんにメッセージ送つておくね。

あ、そうだ。

夕飯はどうしよう？

ねえ、今日は何を食べたい？



うん、食べたいもの、何でも呑つてみて。

え、ちょっと…、待つて待つて…！

流石にそんなにたくさんの呑われたら無理だつて…。

どれか一つ、選んで？

オッケー、ハンバーグね♪

大丈夫だつて、任せよー。

板長のテツさんから教わった、すついで美味しい和風ハンバーグを作つてみせやんか♪

テツさんだけね、若い頃に料理の大会で、優勝した事もあるんだつて…！
そう。

ウチの旅館には欠かせない人っ♪

あー…、確かに見た目は…、ちょっと怖いかも…。

でもでも、笑うとくしゃくしゃの顔になるんだよ♪
本当ですー。

君が知らないだけですー。

君だつてテツさんに入られてるんだから、少しうるさい料理とか教えてもらつたり…。
ほら、そうやって苦手意識を持つてるから、怖いって感じるんだつて。

テツさんだけ君の事、認めてるんだよ？

だからさ、ウチをモノにしたいなら、テツさんは味方につけでおいた方がいいよ♪
ふふっ♪

冗談冗談っ♪

まあもし家族や周りが、君との交際を反対するなり、

駆け落ちしても君を好きでこの覚悟は出来てるんだもんね♪

だから君も、それなりの覚悟をしておこしよね♪
そう。

よし、お母さんにメッセージ送つた。
ん？

もう返信が来た。

ふふっ♪

お母さんつた、「お熱いです事、ヒューヒュー♪」だつて。

まあからかつてぬだけだと思つたけど、老舗旅館の若女将とは思えない内緒だよね…。

つて事でー、覚悟は出来た?

おへ・引も締まつたといい顔してゐる♪

あはつ♪

ずっとその顔だと笑つちやうつー。

そつ、普通でいいの、普通で。

そう…、ありのままの君がいいの…。

なーんちゃつてつ♪

さて、帰りの途中でスーパーに寄るよつ。

流石に食材は、旅館のものを使つて訳にはいかないから。

そつとう。

お客様の人数に合わせて仕入れてるから。

つて事で、スーパーに向かつてゴーゴーつー!

2：秋穂と温泉（つるの屋の大浴場／夜）

（お湯をかける音）

（湯舟に入る音）

（大浴場の扉が開閉する音）

（秋穂の足音）

（位置18から7へ移動しながら／有聲音）

お客様ーん、つるの屋自慢の源泉かけ流し大浴場はいかがですかー?

（位置7／有聲音）

あつ、「めん」めん。

ビックリさせちやつた?

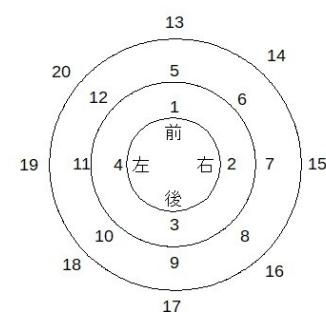
ウチだよ、秋穂。

（秋穂が湯舟に入る音）

何で「こ」にいるつて、知りたい?

えつとね…、お母さんに頼んで、一時間だけ貸し切りにしてもらつたの。えー、いいじゃん別にー。

職権乱用じやありませんー。



「これも君の将来のため、なんだから。

あ、あー…、将来つてこののはほり…、あーはは…。
特に深い意味はないよ。

まあいいじゃない。

だつて一緒にお風呂つて、いつもの事だし。

そう。

いつも通り、つのみの屋の温泉を楽しんで♪

あ、そうだ。

(位置7からゆつくり5へ移動しながら／有聲音)

ウチの手作りハンバーグ、どうだった?

そつか…、美味しかったか…。

よかつた♪

ウチヤ、将来、いいお嫁さんになれやうじゃない?
でつしょー♪

あ、ねえ、その顔、自覚なしつて顔だね。

(ため息) はー…。

これだから君つて人は…。

ねえ、スーパーで見かけたカツプルが居たでしょ?

あの一人つて、実は恋人同士だったかもしれないね?

ウチは咄嗟に、「兄妹かな?」って言つちやつたけど、

あのラブランボーラは恋人同士っぽかつたんだよねー。

いいなー、ああいう関係つて憧れちゃう…。

将来は、あんな風にいちやいちやしたいつー!

(ため息) はー…。

君つて本当に鈍感だよね…。

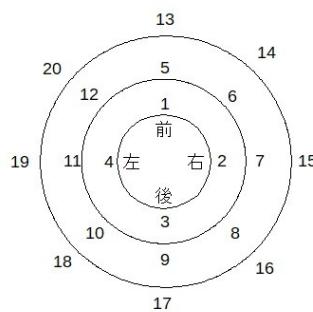
何が言いたいかつていうと、ウチもああいう風にぐつたりしたい時もあるつて事つー

あー、今ちょっと面倒臭つて思つたでしょ。

嘘だー。

何年の付き合いで思つてるの?

君の考えは、顔を見ただけで分かつちゃうんだから。



まあいいけどね。

今の関係に不満がある訳じゃないし。

(位置5から1へ移動しながら／有声音／小声／セクシーに)

でもヤ…。

ウチだつて女の子なんだよ…。

(位置1／有声音／小声／セクシーに)

彼氏にもうと構つて欲しいって思つのは、いけない事…、かな?

ウチはね…、君が望むなり…、すべてを差し出す覚悟は出来てるんだよ…。

ねえ…、もつとウチを見て…。

もつとウチを求めて…。

(1)までセクシーに

なーんてねつ♪

ふははつ♪

君つたつ慌てた顔して♪

ほーんと、見てて飽きなこよねー♪

あ、でも…、やつわ言つた事は「冗談ばかりじゃないよ…」

たあねー?

それが本当に、それが冗談だつたか、試してみたら?

ほり…、ほーうつ。

あははつ♪

これは冗談でしたー♪

はあ…、面白かつた♪

あ、そうだ。

君ヤ、もつシヤンプレーとかした?

ねつ。

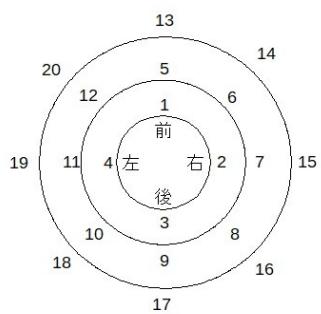
じゃあヤ、今日もウチが洗つてあげるよ。

ほり、一回上がつて?

(湯舟から出る音)

(位置11／有声音)

ねえ君、何で前かがみになつてゐの?



気にするなつて言われると、余計に氣にならんだけだ。

ふーん、まあここや。

んじゃ、せこに座つて?

(足音)

(位置11から3へ移動しながら／有声音／小声)

こつも通り、ウチが使つてゐる風呂セシトを持つて来たからや、これを使つね。

(位置3／有声音／小声)

温泉に置いてあるシャンプーツヒヤ、使うと髪がキシキシになつかやつじやない?
だから変えてつてお母さんに何度も言つてゐんだけど、

業務提携してゐるから一つて中々聞いてくれないんだよね。

ま、大人の事情つてやつ。

たと…、先ずは…。

シャンプーからね。

(シャンプー手に取る音)

こつもウチが使つてゐやつなんだけどや、君ももつ結構使つてゐるね。

ウチはそこにして置いてあるシャンプーとドコマーメンツシヤ、キシキシして嫌だからや、

天然由来100ペーセントのやつを使つてゐるだよな。

君ももつ向回も使つてゐるかう知つてゐと悪ひたが、サラサラのシャツヤにならでしょ。
そつ。

ウチはそれが氣に入つて、これを使つてゐんだー。

それにほら、泡立ちもいいし、洗つてあげても、

しつかり洗えてるなつて実感できる所も、ポイント高いんだー。

よし、かなり泡立つてたから、ゴシゴシとこじこじね。

あ、痒い所があつたら言つてね?

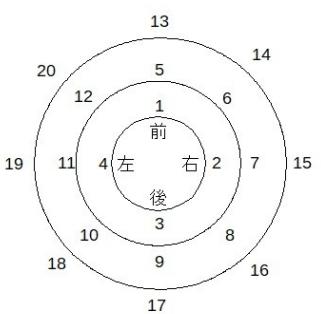
ゴシゴシゴシー♪

「ゴシゴシ…、ゴシゴシ…。

うーん、やつぱり向回嗅いで、このシャンプーの香り、好きだなー。

何でいうか…、ハチミツっぽい香り…~

ただ甘つたるじ香りつて詰じやなくて、ほのかに香るつてこつのが決め手だよな。ほ
う、すれ違つ時にフワッとした香りの、素敵じゃない。



遠くから香水の香りみたいに「ンンンン匂う」と、逆に不快って思う人もいるかうや。

だつてほひ、君と一緒に歩いてる時に、隣りからキツイ匂いが漂つてたらどう感ひへ。そう。

だから、「これべりこ控えめで、近付いた時だけ香るつてこつのがいこのへ、分かぬ?」

さつすがウチの彼氏。

好みも一緒に嬉しいな♪

それにさ、ウチが抱き着いた時に「ワッ」とい香りがしたら、興奮しない? 君だけが知つてゐる匂い…、それつて素敵な事だと感うんだよねー♪ そう。

好きな人の匂いつて特別だからセ。

つて…、さつきからウチ、匂いについて熱く語つかやつしむね…。

匂いフェチなのかな、ウチ…。

君は?

好きな香りとかあるでしょ?

ウチの部屋…?

あー、分かるかも。

好きな人とか恋人の部屋つて特別感あるよね♪

お部屋用の消臭剤とか芳香剤つてあるけど、ウチはたつこつの使ってないんだー。 そう。

あれは多分、ウチの匂いなんだと思つ。

つまり君は、ウチの匂いが好きなんじゃなし?

照れなくともいいでしょ。

別に変だなんて思わないし、ウチも君の匂い好きだから…。 よつと。

それそろ洗い流してこつか。

お湯かけるよー。

(お湯をかぶる音)

もう一回。

(お湯をかぶる音)

泡は…残つて…ないね…。

じゃあ次、トリーーメントをしていくね♪

おつと、その前にー、タオルドライしなきゃね♪

田原からタオルドライしたこと、面倒って思うかもしねないけど、

これをしてないと水分でトリーーメントが薄まっちゃって、効果が発揮出来ないしこよ。

(タオルで髪を拭く音)

(位置2／有声音／小声)

ウチ?

ウチは毎日タオルドライしない。

えつとね、田安は髪を握つても水分が出て「なごみうるさんだつてや」。

「れぐらうかな?

じゃあトリーーメントを馴染ませて…。

(トリーーメントを髪に馴染ませる音)

よし、「んな感じかな?」

まあ君は、ウチ程髪が長くないから、ササッとタオルドライすればよくて楽だよねー。
もうはしゃつてもウチ…、時間のない時とかは、サボつちゃうんだけどね♪
だつてー、テレビとか配信とか、見たいのがあつたら窓こで出たいじやん。
でしょーー。

(位置2から4へ移動しながら／有声音／小声)

ウチだつて推しどか西のこ、君だつて西のでしょ?

(位置4／有声音／小声)

え?

ウチ推し…~.

やだ…、窓じどりつたの…~?

照れぬじやん…。

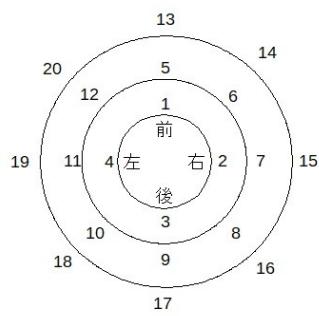
でもいつもやつて愛情表現してくれるので、嬉しご…。

付き合ひが長いから、言わなくて分かる事も多いけど、

やっぱり好きつて感情は特別だから。

そつだよー。

好きつてこの間舞は向回舞われても嬉しごものなの♪



ウチもね…、君の事、好きだよ…。

えへへ♪

改まって晒つと、晒つた方も照れちやう…。
えーっと…。

(位置4から3へ移動しながら／有聲音／小声 照れ隠しをする様に)
そつだつ、もつねりわらひトコートメントを流そつか?

(位置3／有聲音／小声)

ねつ~そつしょ~

はい、じやあ、ねつこう事で流しまーす。

(11Jまで照れ隠しをする様に)

(お湯をかぶる音)

もつー回。

しつかり洗い流せなーとねふ

(お湯をかぶる音)

たて、ウチもササつと洗つちやうから、先に湯舟に入つて?

じこのじこの。

大浴場の中とは晒べ、身体を冷やして君が風邪引いちやつたら大変だもん。
ほり、湯舟に浸かるー…

(背中をペシペシ叩かれる音)

(湯舟に入る音)

(しづづく湯舟の音)

(秋穂の足音)

(位置18／有聲音)

おつまたせー♪

(秋穂が湯舟に浸かる音)

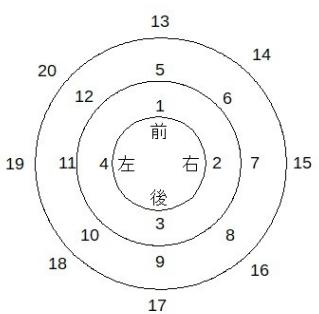
(位置11／有聲音／小声)

ふうー…。

やつぱりウチの大浴場は骨身に沁みるねえー。

あー、年寄り臭いとか言わなーのつ。

いいじyan。



温泉つてやつじつものなんだから。

あ、そうだ。

温泉つてや、アルカリ性とか酸性とかあるじゃない?

日本ではね、中性の温泉が多いんだって。

でね?

「」の源泉も中性なんだけど、ややアルカリ性寄りだから、美肌効果が見込めるって訳。その上、肌の弱い客さんでも入れるって所が、ウチの旅館の人気の秘密なんだって。

まあ人気の秘密はそれだけじゃないんだけどね♪

板長のテツさんが考えた料理は、どれも絶品だしつ。

若女将であるお母さん…、実は美人だーって評判なんだよ♪

後はー…、アクセスがいい割に、自然一杯な所も評価が高いね♪

あ、それに、最寄り駅から、シャトルバスが出しているのも大きいかも。

他人事（ひとごと）みたいに語つてゐけど、将来はウチも女将を継ぐのかー。

うーん、嫌つて訳じやなくて、不安の方が大きいかな?

何代も受け継がれてきた旅館だからセ、プレッシャー感じちゃつて…。

そう。

もう今から少しうつお手伝いとかしてねカジ、やつぱり従業員のみんなをまとめたり、それに接客もしなきゃだし、覚える事が山程あるんだー。

そういう意味も込めて、今はクラス委員長を任せてもうつしてゐるんだよね。

そういう事。

今の内からでも大勢をまとめたりする技量と、責任感つてのを養つていかないと。なーに驚いたような顔してゐるのヤ。

ウチが何にも考へてないとも思った?

ちやーんと、数年…、ううん、数十年後の事まで考へてゐんだからつ。

あ、その人生設計には、君も含まれてるから、よっしゃ〜。

ちよつと、キヨトシとした顔しないでよ。

ウチら、遊びで付き合つてゐるんじゃないんだから、自覚してもうわないと困るんだけど? 意味?

嘘でしょ…。

「」まだ畠つても分からぬの…。

(ため息) はあー…。

これは先が思いやられるなー…。

いい？

ハツキリ言わせてもううがと、君はウチと結婚する予定になつてゐるの？

おばあちゃんなんてね？

元
?

あー…、既成事実

恋人同士や夫婦がするアレ…。

(ため思)
はあ

卷之二

一の話は毎々してい

つと、もうそれそれ出よつか?

自慢の大浴場だけど、時間も来てるし、流石にこれ以上はのぼせちゃう。

二
人

(湯舟から出る音)

(足音)

3 .. 秋穂の誘惑（秋穂の部屋／夜）

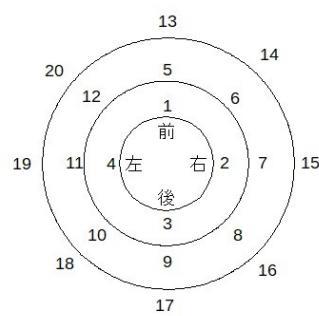
(位置)＼＼有声部

卷之三

で？

ちつともウチの部屋の匂いが好きって話ってたけど、どう?

ウチから聞いておいて何だ



何がそんなに香るのかな？

いつも言った通り、芳香剤も置いてないし…、香水も今は付けてないし…。

(秋穂が近付いてくる足音)

(位置1／から1へ移動しながら／有声音／小声)

やつぱり、ウチ自身の匂いが好きなんじゃないの？

(位置1／有声音／小声)

ほら、嗅いでみてよ。

え、近い？

何を今更…。

あ、もしかして、ウチを意識したりやつてる感じ？

ねえー、どうなのー？

ウチとしては願つたり叶つたりなんだけど。
もう…。

君つてさー、奥手つて言つたか、素直じゃないっていうか、ほーんと不器用だよねー…。
彼女がこんなに近くに居て、匂いを嗅いでつて言つてるんだよ…。
つまりそれは…、好奇心につけて事と同意なんだから…。

(秋穂の足音)

(秋穂が抱き着いてくる音)

(位置1から4へ移動しながら／有声音／かなり小声)

君から来ないなら…、ウチから行っちゃうんだもんね♪

(位置4／有声音／かなり小声)

やーだー。

離れないもーん♪

君が鈍感で、いつもこう事に不器用だからいけないんだよ♪

(耳ふー一回) ふー…。

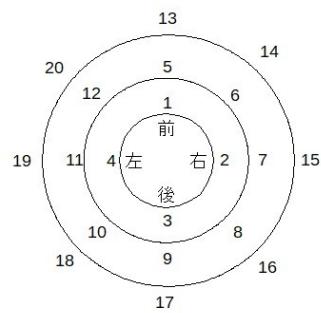
ふふつ♪

効果つきめんだねつ♪

もう一回。

(耳ふー一回) ふー…。

あ、こーら、避(よ)けないでっ。



(耳ふー一回) ハー…。

反対側もやつかやおいつぶ。

(位置2／有声音／かなり小声／セクシーに)

(耳ふー一回) ハー…。

ねおー、じひかわもごこ反応だ。

(耳ふー一回) ハー…。

せひー、ウチの唇がお耳に触れそりだよ…。

(耳ふー一回) ハー…。

ウチの息…、あつたかいでしょ…?~

ふらひふ

でつょー~。

ねえ…、その氣になつた…?

セヒキカヒ、ウチの胸があたつてゐる、隠れてこないでしょ…?~

セヒー、セヤル。

君を私の隠しておいたなの、奥の手へ

知つてね…?~

ウチね、結構…、胸…、あるんだよ…?~

ルル…。

指ひはもつ達の…。

ねえ…、田を逸ひでなこど…。

ウチを見て…?~

触りたい…?~

君が触りたいなら…、いこよ…。

それとも…、しおやつ…?~

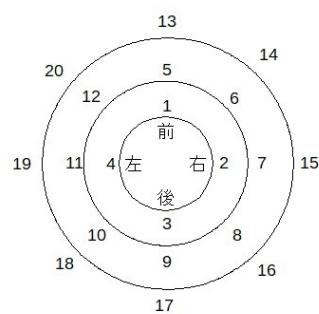
何をつて、Jの期」及んでまだそんな事を言ひてゐる…?~

そんなの決まつてねじやん…。

Jの流れですねひつて言ひたの…、アレしかなこどしょ…。

ウチは心の準備…、出来てるよ…?~

相性?



聞かせて欲しいな…。

本当…?

いいの…?

じゃあしようか…、耳かき♪

(秋穂が離れる音)

(位置7／有声音／小声)

あははっ♪

もしかして、本気とした?

あー、「めんつてばー」。

怒った…?

そつか、よかつた。

(位置7から5へ移動しながら／有声音／小声／真面目なトーンで)

あー…、心の準備は出来てるっていってるのは、本当…。

(位置5／有声音／小声／真面目なトーンで)

でもね…、無責任なのはウチも駄目だと思つてゐるから、安心して? そう。

まだちょっと早いかなつて思つてゐる。

え?

そんなに本気に見えた?

そつか…、今度からは気を付けるね…。

それにしても…、君が真面目な人でよかつた…。

それに比べてウチつたら…。

え?

卒業してから…?

そつか…、君もちゃんと考えてくれてるんだ…。

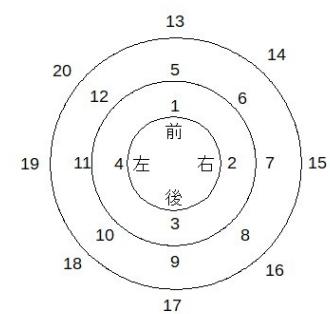
嬉しいな…。

そうだよ。

君つたらいつも話を逸らしたりするから、

てつたり冷めちゃつてゐのかなつて思つ事があつたから…。

そつかそつか…。



(「」Jまで真面目なトーンで)

(位置5／有声音／小声)

じゃあさ、ウチの初めては、君にあげる♪
何つて、それはー…、色々♪

ちとさて、話が脱線しちゃった。

ほり、耳かきしてあげるから、横になつて？
勿論、膝枕、だよ♪

(寝転がる音)

4：秋穂との思い出（秋穂の部屋／夜）

(位置4／有声音／かなり小声／ゆっくり)

じゃあやつていくな♪

うん、見慣れた耳穴だ♪

えーっと…、ふむふむ…、なるほど…。

この前やつたばかりだから、流石に汚れは少ないね。
でもせ、やって欲しいでしょ？

ふふふ♪

ちやーんとやつてあげるから、安心して？

じゃあ耳かき棒、入れるよ？

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…つと…。

氣もちいい？

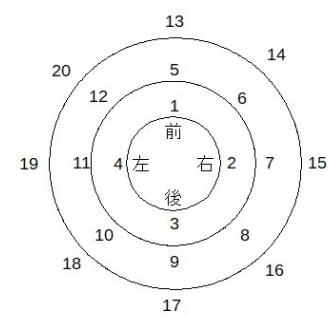
そつか、よかつた♪

ふふふ♪

いい顔してる♪

ウチは、君のこの顔を見るのが楽しみなんだー♪

君も耳かきしてもらうのが好きだし、ワインワインだね♪
ねえ、突然なんだけど、ウチらつて、昔から何をするにも一緒にいたじゃない？
そう。



産まれた年が一緒に、家が隣同士でいたのもあって、毎日の様に一緒に居たよね。

おまめいとも…、虫取りも…、あと一緒にお風呂したり♪

で、いつも何気なく遊んだりしてたけど、その歳ながらにふと考えちゃったんだよね。もし君と離れ離れになっちゃつたらどうしようつって。

結果的に今こうして何も合つてないナニか、時々やうやつて不安になる事があったの。最初はね、何でこんな事を考えたりやうんだろ?、って思つてた。

でもある時、気が付いたの。

ああ、ウチは君の事が好きなんだ…、って…。

それが今から十年くらい前の事。

意識し始めてからは、些細な事で嬉しかったり、時には嫉妬したりしてたんだ。特にあの時…。

ほり、君が美術の授業で制作した絵が、金賞を取った時があつたじゃない? 県議員のお偉いさんに表彰までされちゃつて…。

で、その時、周りの女子から凄い凄いって囲まれてたの、覚えてる?

そう。

あの時はもう、君を取られちゃつて…、気が気がじやなかつたよ。

君も『レーテレ』した顔しちゃつてさ。

で、我慢できなくなつて、ウチが割つて入っちゃつたんだよな。

普段は君に無関心な女子が、君の何を知つてこのつて思つちゃて。

まあその時からウチはクラス委員長だったから、至つて冷静だつたんだけど。

そつ、あれはと一つても冷静だつたんだよ~

嘘ぢやないもん。

「の前だつてほり、大通りのカフヒに寄つたでしょ?」

あそこの女性店員さん、すごく美人だったじゃない?

君つたらうその店員さんを田で追つちやつて。

ウチ気が付いてたんだから。

でも君だつて男の子だもん。

綺麗な人が居たら、そりや見ちやうよなーつて、敢えて言わなかつたんだよ。

ね?

ウチ、冷静でしょ?

ほうね。

で、あの店員さんさんがそんなによかつたんだ?

へー…、黙つちやうつて事は、そういう事でいいんだね?
何?

聞いきえなーい。

もつ一回、ハツキリハツキリ言つて。

ウチが好き…、それは間違いない?

まあいいけどね。

あの店員さんさんだつたら、ウチだつて憧れちゃうもん。

美人でスタイルもよくて、キラキラ輝いてた。

ウチは…、地味だし、普段から田立たない人間だからなー。

まあでもウチ、これでも男子からも女子からも結構モテるんだよね。
え…、気付いてなかつたの?

今年のバレンタインバレンタインデーも、男女からたくさんチョコ貰つたんだから。

そつこえばヤ、貰う度に、「少しの間だけ眼鏡を外してもらえませんか?」

つて言われるから、そうしてたけど、あれは一体何だつたんだろ?

へ…?

眼鏡を外すと美人…?

ウチが…?

えつと…、今更おだてても無駄なんだけど?

嘘じやない…、つて…。

それ本当?

そつか…、そつなんだ…。

じゃあヤ、ウチもコンタクトにしようかな…?

何で駄目なの?

眼鏡属性…?

何それ。

へー…、そういうのがあるんだ。

まだあるの?
うん…、うんうん…。

たまに外すのがいい?

目録

井ナニ一、鹽火

ふーん それで眼鏡を外して欲しいって言われたのか……

卷之三

嬉しいなつて♪

そしたら、君は、ウチが眼鏡してる時と、外してる時、どちらが好きなの？

六
回
刀

春らしいとこは春らしいけど、木立れで、何といふ歴史的な何かといふ歴史的な

112

卷之二十一

アラモードのカシミヤニットは、何よりも柔らかくて、暖かい。

でもウチは違う。

君の事を知れば知る程好きになる。…

中華書局影印
卷之三

君は……、もう少しウチに興味を持つてくれてもいいかなって思う。

まあ強要はしないけどね。

卷之三

むう。

また自覚なしつて顔…。

それとせうこみたしな重い事を言ふ子は嫌い……

卷之八

፳፻፲፭

も、うんうん、うちのお耳は終わろうか?

うん、梵天でふわふわしてごくね♪

ふわふわー…。

ふわ…、ふわ…。

ふわふわー…。

(耳ふー一回) ふー…。

もつ一回。

(耳ふー一回) ふー…、ふー…。

オッケー、綺麗になつたよ♪

じゃあ次は反対ね?

反対向きにゴロソンしてやれぬ?

(寝返りの音)

(位置2／有聲音／かなり小声／ゆっくり)

はーい、じつもお耳掃除、してごくねー♪

そう言えば、君が観たいって言つてた映画…、もつ始まつてるんじゃない?

だよね。

何か初日から凄い動員数だつたらしくよ?

そう。

グッズなんかも直ぐに売切れちゃつたって、話題になつてたもん。

君が観たいって言うからさ、ウチも気になつてたんだよね。

いつ観に行こうか?

来週の土曜?

うん、いいよ♪

予定空けておくね♪

と頃つか、ウチの予定は、君最優先だから♪

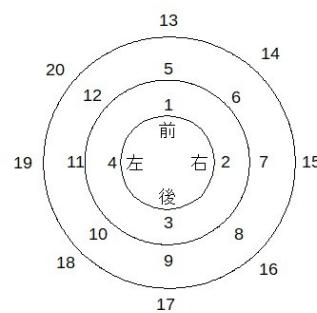
こののいいの。

ウチがそうしたいんだから、気にしないで~

映画かー。

二人で映画を観に行くつて、実は久しぶりじゃない? だよね。

最後に観たのは…、そう、あの三部作の最終章つー。



あれもよかつたよねー♪

君もウチも好きなシリーズだったからヤ、一回観に行つたけ♪

それで、一回とも泣いちゃつた…。

だつてあのワーストは切なすぎるもん…。

一回目なんて特にこうだつた…。

この後に待ち受けている事を考えたりつて思つと、感極まつちやつて…。

君つたら、ハンカチを差し出しつてくれたよね。

あの時、嬉しかつた…。

でもヤ、君も泣こむやつて…、

ああ、共感してくれてるんだつて思つて、もっと嬉しかつた…。

君つて、普段は鈍感なくせに、映画とかでは感情が表に出るタイプだよね♪

上映中は暗いから、泣いても平気つてのもあるのかもだけど。

それに感動したり、悲しかつたら、素直に泣いてもいいこと思つんだ。

そうだよー。

別に涙脆弱から嫌とか、ウチはそんな事は思わないし。

むしろ、泣かなかつたらこいつ泣くの?~

ここのよりはマシ。

まあ何にせよ、映画に限りず、人の心を揺さぶるものって好きだなー。

そういう意味では、君もその内の一人なんだよー。

わつ。

ウチひとつには心のより処だし、欠かせない存在…。

こつも…、つうふ、こつまでも想つてキッキしてこたし…、わつ思つてゐる。

別に特別な事はしてくれなくていいの…。

確かに歳をとつたり、色々な経験をしていく上で、変わつて行く事もあるかもしない…。

ウチも今のままじゃないだろ?~…。

うん。

環境次第で変わつてこくものもあると思つ…。

長い付き合ひの中での、何も変わらないなんてないから…。

変わつてこくつてこくのは、その人の成長でもあるから…。

勿論、これだけは駄目だつて思つたら、ウチが支えるから…。

そう。

君が何かに挫けそうになつたり、道を踏み外しちゃになつたり、
ウチがビシッと囁いてやるんだから♪

うん♪

覚悟しておいでよね♪

所でヤ、ヤツモから呼吸が荒くない…?

どうしたの?

あー…、もう…、やっぱ匂い嗅いだね…。一
人が真剣な話をしてたのに、君って人は…。

いくらウチのお腹側が近いからって、そんなに嗅がないでよ…。
ちよつと恥ずかしいじゃん…。

うーん…、嫌いやな感じ、ウチの話…、ちゃんと聞いてた?
それ、それならいいんだけど…。

あーもー…、いつこの時」ビシッと囁いてやりたいけど、

君の幸せそうな顔を見たら、強く言えないなー。

あはは…、ヤツモウチの意志を伝えたばかりなのに、もう離のこだわる…。
「こういう所、ウチも君に甘いんだなって思つ…。

まあ今日は特別♪

えー、ここの人♪

何だか今日は、君との距離が、もーっと縮まつた気がするから♪
実際、「こんなに近いし♪

(キスの音) チュッ。

あはっ♪

近すぎてキスしちゃつた♪
別にいいじゃーん。

それとも何?

ウチにキスされて、嫌なの?

黙つてたら分かんないよ…。

つと言いたいところだけど、君、顔が一ヤけている♪
やーっぱり嬉しかったんじゃんっ!

ねえねえ、ウチにキスされたと、どうこういふ気持ちにならへ。

うん…、うんうん…。

ふふつ♪

何それ♪

百メートルを八秒って、それ世界記録だから♪

しかも今の世界記録より、一秒以上速いんだけど♪
でもそつか…、嬉しくて身体が軽くなる…、か…。

ねえ、君からはキス…、あんまりしてくれないけど、

もうこう愛情表現つて好きじゅ…、ない?

へ…?

照れる…?

えー、ウチらの関係に、照れる事なんてある?

登下校も毎日一緒に、それにほほ毎日お風呂にも一緒に入ってる仲だよ?

それなのに…、照れる…?

そつか…。

まあ確かに、キスつてちょっと特別な感じがあるよね。

でも君?

将来的にはキス以上の事をするんだから、ちゃーんと心の準備はしておいてよなつ♪
お、段々と話が通じる様になつてわたね♪

でもそれは、やつやも言つたけど、まだ先の話…。

とは云々、やつ遠くない未来…。

ウチは…、うれまでも…、うれからも…、君のものなんだかつた…♪

うん♪

よろしくお願いします♪

わひつと、わうわううつたりも梵天で綺麗にしてこくね?

ふわふわ…。

ふわ…、ふわ…。

ふわ…、ふわ…。

(耳ふー一回) ふー…。

ふーわ…、ふーわ…。

(咲らーー|回) ハー…、ハー…。

はこひ、じゅわかもむ終こひふ。

あ、かよつとんのままでこひふ。

(キスの音) チュッ。

えくへ…、またキスしたやつたふ。
どひふ。

また身体、軽くなつた?

ふふつふ。

羽が生えて飛んでつかやこひふ…、か…。

うーん…、それは駄目かな~。

だつて…、飛んでつかやつたうつから離れてやつじやふ。
だからだーめひふ。

君はゼーつたに離れたんだからひふ。

あ、そうだ。

今晚泊つていかない?

大丈夫だつて。

悪いよつにはしないかひふ。

あはせふ。

冗談はさて置き、実はわいね布団も用意しつるぞだよねふ。

(位置2で14の方を向ぎながら／有聲音／かなり小声)

ほり、あわい。

(位置2／有聲音／かなり小声)

おぬやふが、えりか泊つてこべだいひひふ、持つて来てくれたの。
だから…、ね?

今夜は、お布団を並べて、一緒に寝ねのふ。

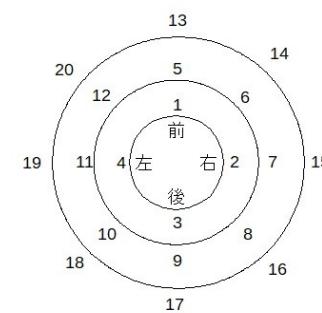
何もしなごから平氣平氣ふ。

それこ泊つてこべ事體はこつむの事じやふ。

あー、でもー、君があんまりにも無防備だったう、あることは…。

ふふつふ。

それはナイシ三ふ。



つて事で、泊つて行へどしづへ。

オッケー♪

じゃあ早速お布団敷いてやおひよか
うん、わづしよか

あ、ピッタリ付けて敷いてよね?
えー、近い方がいいじゃんか

何なら、一緒にお布団で寝ねへ。
ウチは…、こじよ…?

君の温もりを感じて…、眠りたいな…。

だーかーうつ、何にもしないつばー。
本当にすー。

わいつせも畳つたでしょへ。

まだ畳こつて。

君がー…、責任を取つてくれぬなら、話は別だけど
へ…?

取つてくれぬの…?

わよつと…、急にどうしたのヤ…。

えーつと…、と、取り敢えず、お、お布団敷いりへ..
ね?

つて、あれ?

あのー…、どうしてくれないとウチも動けないんだけど…?
動きたくない…?

どうしちゃったのヤ…。

いっして、いたいの…?

わつ、仕方がないなー。

寝に、おひよいんだもん、わぬこよ…。

わぬこよ

でもおひよいのねも好や。

可憐じ…。

じやあおひよいひつてこむりな。

眠っちゃつたら、ね布団かかってあるから♪

いいよ、寝ちゃつても。

うん、分かった。

じゃあお休みなさい…。

ねえ…、こんなウチを彼女にしてくれて、ありがとう…。

え?

当たり前…?

何で?

ウチの事が好きだから…?

えへへ…♪

ウチも君が好き…、大好き…。

これからも…、ううん、この先ずっと…、よろしくお願ひします♪
うん、任されました♪